

ホタテとともに成長し、いつまでもチャレンジする企業。

創業62年の猿払の老舗

異冷凍食品株式会社

グループ／北水産(株)・たつみ食品(株)・オホーツク海陸食品(株) 海王食品(株)・本間食品(株)・稚内東部(株)

チャレンジし つづける精神

あなたは猿払産のホタテを刺身で、「ガブリ」とかぶりついたことがありますか？

あなたは猿払産のホタテを刺身で、「ガブリ」とかぶりついたことがありますか？ 吊るして育てる養殖ではなく、地播きして自由に荒波のなか泳いで育った運動量豊富なホタテだから、身の縮まったプリプリとした弾力ある食感がたまりません。甘みも申し分なく、思わず「これぞ最高品質」とうなずいてしまいます。通常スーパーなどで目にするのは、ほとんどが1年か4年貝。それに対して猿払産は5年貝。残念ながら11月中旬に今年の漁は終了しましたが、そんな時こそ「玉冷」（貝柱のみをキレイに取り出し冷凍した商品）の出番です。

もちろん、玉冷の中でも最も高い評価を受ける異冷凍食品(株)のものであれば、美味しさは保証されます。

◆先代が個人商店としてスタート

社長「当社は昭和27年、父の異昇が異商店を開業したのが始まりです。それ以前は知来別の小学校の先生だったのですが、自分で商売の方が性に合っていると判断したのでしょう。仲卸としてタコ、イカ、マスなどのお魚を中心に、浜で揚がったものを汽車で市場まで運んだと伝え聞いています。確か私の記憶では、「キャベツで大失敗した」などと言っていましたから、魚以外の商品も取り扱っていたのかも知れません。ホタテも少しあったようですが、その頃は生

や冷凍はなく、もっぱら干し貝柱でした。いま思えば私は小さい頃、工場の中でよくヒモを付けられ、遠くまで行けないよう繋がれていましたね。大人はみな仕事をしているから手を掛けられなかったのでしょうか。もう一つ子ども時代のエピソードがあります。あれは小学4・5年生でしたが、先生から「あなたのお父さんは何の仕事をしているの？」と聞かれ、答えられなくてずいぶん恥ずかしい思いをしました。実際に私は父の職業を知りませんでした。とにかく家に居ないのですから。たまに帰って来たと思えばお客さんとお酒を飲んで宴会ですし…。父は仲買人でもありましたから、ホタテが枯渇

統を受け継ぐと私も思っています。ですから好きな言葉は「チャレンジする人に失敗はない」

マーケットは 対米対EU

きた異冷凍食品は、ホタテ王国と異名をとる猿払村を本拠地に、7社9工場の異グループを有するまでに成長を遂げ、国内最大級のホタテ加工生産グループとなりました。平成21年には対米向けHACCPを。さらに同25年に対EU向けを取得し、欧米をマーケットとすべく本格的な輸出にチャレンジしています。その結果、製品の徹底した安全を確保する衛生管理のもと、現在ホタテの半分は欧米・中国等へ出荷されています。 ◆熟練工と人材確保をどうするか 社長「私どもは、国内の冷凍ホタテ貝柱生産量の約10%のシェアを持っています。これは、村とともに、そ

してホタテとともに長年にわたって努力し、挑戦し続けて来た賜物と言えるでしょう。グループ会社を組織し、HACCPも取得しましたが、すべてが順風満帆というわけではありません。これまで以上に労働力の確保が深刻な問題になっています。頼みの綱とするのが上限3年の技能実習を受ける外国人研修生・実習生たちです。当社ではその予測をいち早く立て、

ら、日本文化や日本語、何でも学ぶチャレンジ精神に溢れていた彼女たちも、今ではスマホに夢中です」 故郷を愛し、この先何を残し 何に挑戦するか

私から出たくて仕方がなかったとか。 ◆息子には鮭を開拓してほしい



対米向け・対EU向けHACCP取得



品質・衛生管理をより厳格に

社長「中学時代の私の一番の夢は、とにかく猿払から出ることでした。念願叶い高校・大学進学のため村を離れ、卒業後も東京で勤めまし

25%を外国人が占めるに至っています。しかしそれでも人手不足を補えず、ここ2〜3年のうちには、従来は熟練工の手仕事だった部分をロボット化し、新たな機械導入も考えなければなりません。加えて昨今の研修生・実習生の質が変わってきたように思えます。年齢層も30代が中心となり、技術の習得もさることなが

た。それなのに3年が経つと、鮭の母川回帰ではありませんが、家業を手伝うため帰って来てしまいました。私としては、きっと父は喜んでくれるだろうと思っていました。肩透かしを食らうほど冷静沈着でした。ところが私も父となり、3年前に息子が帰って来たのですが、先代同様、喜んでばかりもいられないのです。

HACCP

対EU・米輸出水産食品取扱施設認定
異冷凍食品株式会社
 宗谷郡猿払村鬼志別西町186番地
 ☎01635-2-3326(代)
 ☎01635-2-3774
 URL www.tatsumi-frozen.co.jp/
 資本金/1,000万円
 総合工場/宗谷郡猿払村鬼志別西町186番地
 ホタテ工場/宗谷郡猿払村鬼志別西町187番地
 役職員数/約80人
 事業内容/水産物加工販売
 年商/約60億円(グループ総合100億円)
 平成26年度実績

会社沿革

- 昭和27年/水産物仲買業を主とする個人会社異商店を開業
- 昭和45年/資本金700万円にて異冷凍食品株式会社設立
- 昭和47年/ホタテ玉冷用ライン整備し、本格操業開始
- 昭和56年/宗谷地区に富磯工場を新設
- 昭和59年/本社、総合工場、冷蔵庫増設
- 平成元年/横浜営業所開設 総合工場冷蔵庫増設
- 平成3年/ホタテ専用工場としてホタテ工場新設
- 平成4年/資本金1,000万円に増資 トンネルフリーザー導入
- 平成7年/異 昭(二代目)代表取締役就任
- 平成11年/横浜営業所を東京築地に移設
- 平成20年/ホタテ工場HACCP導入のため全面改修
- 平成21年/対米向けHACCP取得
- 平成25年/対EU向けHACCP取得



異冷凍食品株式会社 代表取締役 異 昭さん



▲タコ、サケ、カニなどを扱う総合工場
 ▼玉冷用ラインを整備したホタテ工場